

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



世界の窓

Vol.59

世界のお正月

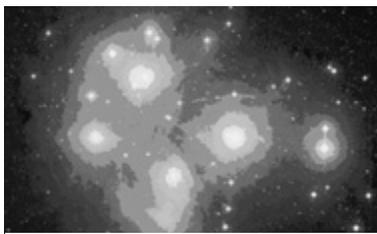


世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」！
案内役は、国際交流員のローラ・スタンリーさんとカレン・イートンさんです。

Happy New Year! カレンです。みなさんお正月はどう過ごされてますか。わたしは、ニュージーランドの実家に帰りました。やはりお正月はいいですね。新しい気持ちになってワクワクします。そこで今回は、世界の楽しいお正月について紹介したいと思います。

あけましておめでとうございます。世界中の人たちがさまざまな習慣でお正月をお祝したことでしょ。皆さんはいろいろな習慣や伝統的なお正月に参加し、おせち料理を食べたりお酒を飲んだりしながら、愛する家族と楽しい時間を過ごしたことでしょう。私は今年、年越しそばを食べたり108回の除夜の鐘を聞いたり、またテレビで紅白歌合戦を見たりなどの日本のお正月に参加できなくて残念でした。しかし、ニュージーランドへ帰り大切な家族と一緒に過ごすことができると嬉しかったです。ニュージーランドでのお正月のお祝いは、多くの国と同様に12月31日の夜に家族や友達が集まってパーティーを開き、明け方までダンスをしたりお酒を飲んだりして新年を喜び合います。

しかし、ニュージーランドの新年は、ほかの国とはちょっと違った特別なことがあります。ニュージーランドは国際日付変更線のすぐ西に位置しているの、世界で最も早く初日の出が見られる国なのです。ニュージーランドの先住民のマオリ人は多くの太平洋諸島の人々とともに、本当の新年は6月だと信じています。プレイアデス星団の星の位置と新月の見える位置で日付が決まります。新年をお祝いすることは大昔からの祝い行事の一つなので、世界中でさまざまな習慣があるのは当然のことです。



△プレイアデス星団

世界中のお正月の迎え方を紹介するのは無理なので、今回は少しだけ紹介したいと思います。皆さんがすでにご存知のものも初めて聞くものもあるかもしれませんね。まずはスペインについてお話ししましょう。12月31日の真夜中に一人一人が12粒のブドウを持ちながら12時を待ちます。12時になると

▽プエルタデルソル時計台



マドリードの有名なプエルタデルソル時計台の鐘の音に合わせ、ブドウを一粒ずつ口の中に放り込んでいきます。この習慣はブドウが大豊作だった20世紀のある年から始まったそうです。大量に余ったブドウをどう処理すればいいか悩んでいたところ、国王とブドウ農家の人々が12月31日にブドウを食べることを考え出しました。そしてその習慣が現在まで続いているのです。いくつかのラテンアメリカの国々でもこの習慣は続いています。しかし、メキシコ、ベネズエラ、アルゼンチン、ボリビアなどのラテンアメリカの国に行くと、あなたは多くの人たちが真夜中にスーツケースを持ちながら家の回りや通りを歩き回る習慣を見掛けるでしょ



△ラテンアメリカではこんな風景が

う。これらの国々では、新年に旅行をしたいと望んでいる人たちがスーツケースを持って歩き回ります。遠くまで歩けば歩くほど遠くの国まで旅行ができると信じられています。ラテンアメリカの国の多くでは、31日に着る服の色がとても重要です。ブラジルでは白い服を着ると幸運がついてくると信じられています。また、ベネズエラとエクアドルでは黄色い下着は幸運と成功を意味し、メキシコでは赤い下着を着ると恋人が見つかると思われているそうです。海岸付近に住んでいるブラジル人たちは、深夜ちょうど12時になると砂浜にろうそくを立て海へ向かって走っていきます。そして七つの波を飛び越えた後、海に花を投げ入れ、新年の幸運と成功を海の女神に祈る習慣があります。ある行動が幸運をもたらすことを信じているのはラテンアメリカだけではなくありません。アイルランドでは幸運がやってくるようにと、真夜中に家の正面玄関から入り裏口から出るという習慣があります。現在はあまり行われていませんがもう一つ伝統的な習慣があります。それは幸運を招き入れ悪運を追い出すために、クリスマスのパンを持って壁やドアをドンドンと叩く習慣です。この習慣は新年にパンを十分食べることができるようという願いも込められていると考えられています。スコットランドでは、伝統的に家族と一緒に家で過ごし、真夜中になる少し前に窓を開け、古い年を追い出し新しい年を招き入れる習慣があるそうです。12時を過ぎると今でも昔ながらの習慣でご近所やお友達の家に石炭のランプを持ちながら訪問します。これは縁起担ぎでFirst Footing (はじめの1歩) と呼ばれています。新年最初に家に招き入れた人によって、これからの1年が決まるという習慣だそうです。もし最初に家に入った人が暗い髪の毛の男性だと良い一年になりますが、赤い髪の毛の男性だったら一年中運が悪いことが予想されます。



△ブラジルの正月風景

今回のお正月は、このような面白くて伝統深い、そして少し変わっている習慣にわたしは参加することができませんでした。その代わりに愛する家族と一緒に過ごすことができました。世界中のさまざまな習慣の中でも家族と過ごすことは共通した大切な要素であることは間違いありません。皆さんにとって素晴らしい1年でありますように。